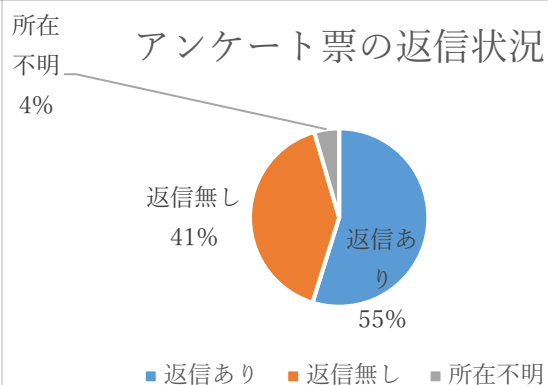


## 令和3年度森林経営管理制度 意向調査アンケート結果【まとめ】

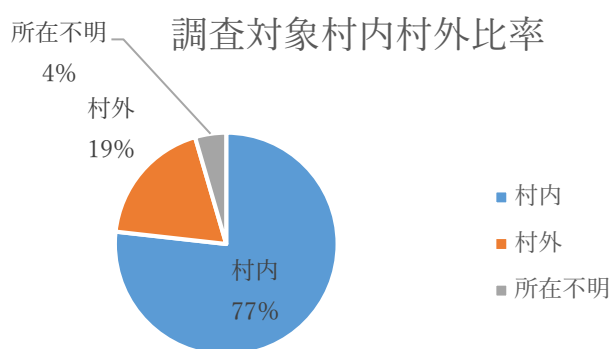
アンケート票の返信状況



令和3年度 「大草北地区」  
 調査対象面積 200 ha  
 調査対象人数 155人  
 調査委託先 上伊那森林組合

返信あり	85件
返信無し	63
所在不明	7
合計	155

調査対象村内村外比率



村内	119件
村外	29
所在不明	7
合計	155

### アンケート返信状況に対する考察

155通のアンケート票の発送に対して、55%の85通について返信がいただけました。

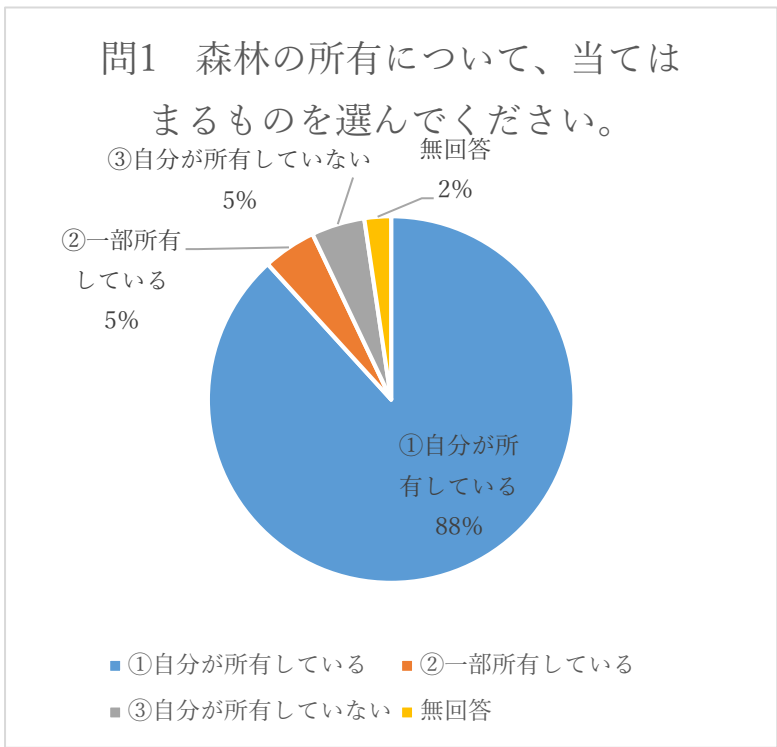
逆に41%の63通については返信されなかった。4%の7通については所在不明にて返却された。

55%と返信率はかなり低いものであった。理由として考えられることは、一つには、所有者が高齢化し、様々な対応が出来なくなり、封筒を開けなかったか開けても普段見慣れない内容のため放っておいたことが考えられる。

また、対象森林が山地であったため、里山の森林が対象となる場合と比べて人家に対する自然災害の危険度が低く、なんとか手入れをしなくてはいけないという関心が低いことも考えられる。

いずれにしても、来年度の意向調査は封筒の表にアンケートと分かるように標記する等、返信率が高くなるように工夫をしたい。

」



①	(自分が所有している)	75件
②	(一部所有している)	4
③	(自分が所有していない)	4
無回答		2
合計		85

問1 コメント欄への記載

・〇〇年に〇〇(株)へすべて売却しました。

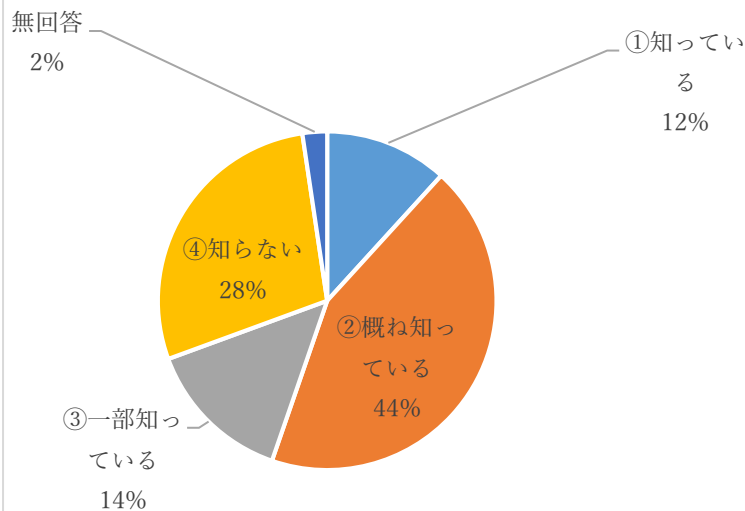
問1 に対する考察

返信のあった所有者に関しては 88%のほとんどの所有者が自分は山林を所有していることについて知っていた。

中には林地台帳の名義から所有者が変わっていることを教えてください所有者もおられた。

## 問2 森林について、所在場所や境界を知っていますか。

- ①知っている
- ②概ね知っている
- ③一部知っている
- ④知らない
- 無回答



①	(知っている)	10件
②	(概ね知っている)	37
③	(一部知っている)	12
④	(知らない)	24
無回答		2
合計		85

### 問2 コメント欄への記載

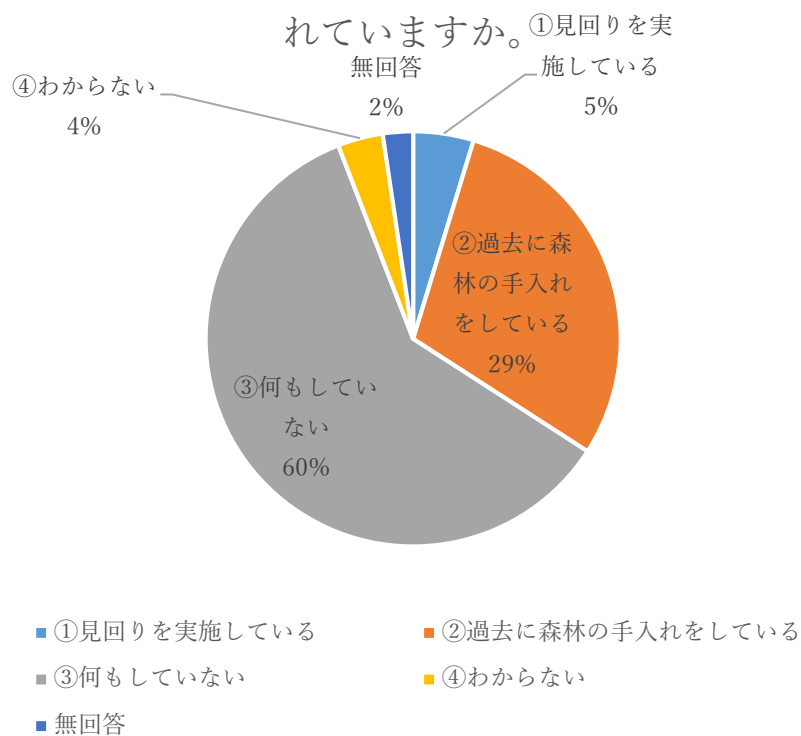
- ・一部所在や境界のわからない山林がある。
- ・一度程度、現地へ行ったくらいです。
- ・図面上では知っている。
- ・〇〇ブナの木付近不明確
- ・水害等で道がなくなって場所不明。

### 問2 に対する考察

「一部知っている」まで含むなら72%の所有者が、ご自身の森林の所在場所を大まかには知っていた。逆に28%の所有者は、ご自身の森林の所在場所や境界について知らなかった。

大まかでも知っていられる所有者の中には「ブナの木付近は不明確」等、細かな場所のみ不明確な方もあれば、「一度程度、現地へ行ったくらい。」「水害等で道が無くなって場所不明。」等、長年実際の森林には行っていない方もおられる。

### 問3 森林において、どのような管理をさ



①	(見回りを実施している)	4件
②	(過去に森林の手入れをしている)	25
③	(何もしていない)	51
④	(わからない)	3
無回答		2
合計		85

#### 問3 コメント欄への記載

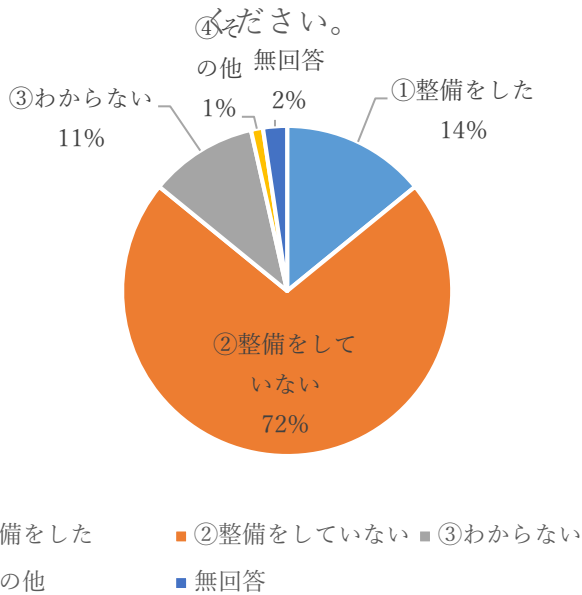
- ・境界の草刈り
- ・一部手入れをしている。
- ・キノコ採り

#### 問3 に対する考察

「何もしていない」、または「管理についてはわからない」所有者は合計63%と多数であった。

過去に森林の手入れをしている所有者が30%であったが、おそらく抽出条件から最近10年間は森林施業をしていない場合が多いと思われる。また、5%の所有者が見回りを実施していた。見回りとは境界の草刈り、またキノコ採りのために毎年なんかで山に入られている。広葉樹林等のなかには管理の必要ない山林もあると思われるが、大多数の山林については現状の把握が出来ていないこととなる。

問4 対象山林について、過去10年以内に間伐などの整備をされましたか、わかる範囲でお答え



①	(整備をした)	12件
②	(整備をしていない)	61
③	(わからない)	9
④	(その他)	1
無回答		2
合計		85

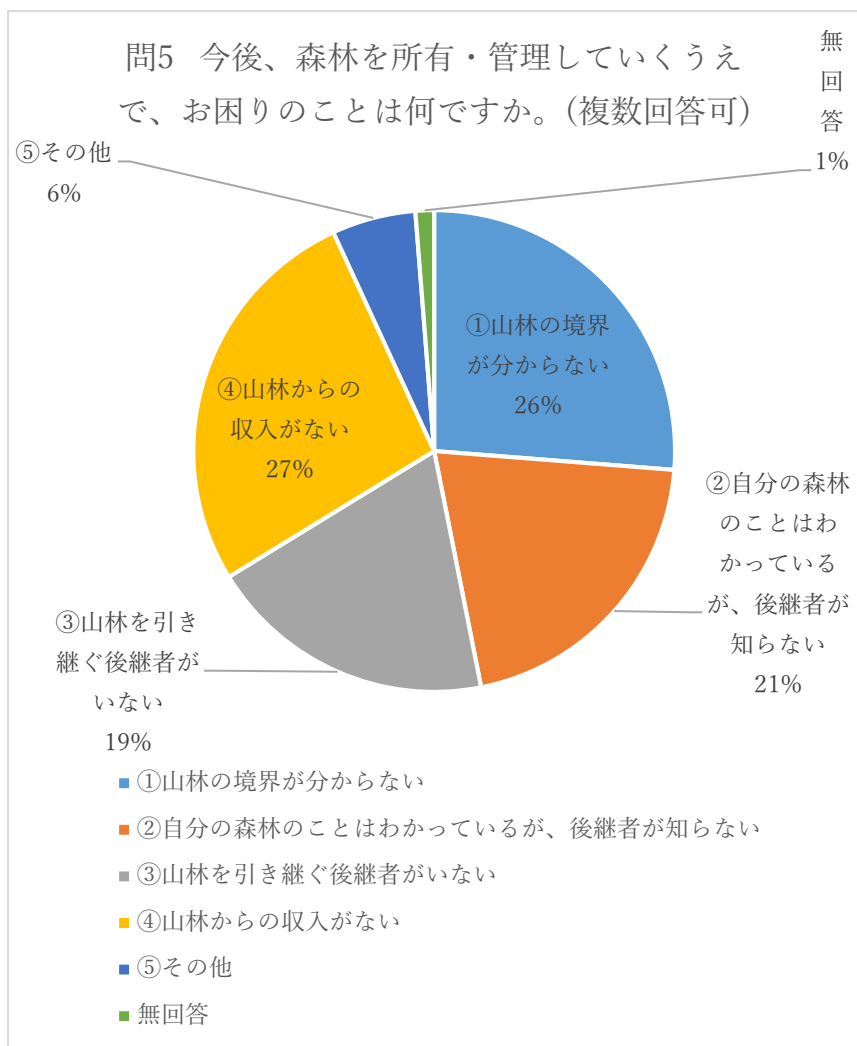
#### 問4 コメント欄への記載

- ・森林組合で間伐した。(4件)
- ・間伐(2件)
- ・作業道の整備、ヒノキの枝打ち、不要木の伐採、搬出
- ・一部領域についてヒノキの伐採を実施
- ・一部森林組合にて整備をした。
- ・森林組合から連絡有。
- ・昭和31年頃皆伐をして植林済み(アカマツ・ヒノキ・スギ)

#### 問4 に対する考察

過去10年以内に「間伐などの整備をしていない」または「整備をしたかわからない」所有者を合わせると82%の所有者は実質整備を行っていないと考えられる。逆に過去10年以内に「間伐などの整備を行った」所有者は15%と少ない。整備を行った箇所多くは過去森林組合が間伐を行っている。

整備を行っていない箇所の多くは補助事業の採択要件を満たしていないことも原因であると考えられる。また、森林組合が今後間伐を行えないか相談をしている森林所有者もおられる。



①	(山林の境界が分からない)	41件
②	(自分の森林のことはわかっているが、後継者が知らない)	33
③	(山林を引き継ぐ後継者がいない)	31
④	(山林からの収入がない)	43
⑤	(その他)	10
無回答		2
合計		160

#### 問5 コメント欄への記載

- ・一時県の森林税による間伐事業があったがもっと活用してもらいたい。(2件)
- ・後継の者には山の位置を教えてあるが、境界まではわかっていない。(2件)
- ・道がない (2件)
- ・何をすればいいのか (するべきか) 分からない。
- ・国調の折、境界の杭打ちを立ち会ったが現在は道しか分からず数年が経っているので見通しが見つからない。境界の杭はあるはず。
- ・土地を活かす目途がない。責任が発生しても果たせないかもしれない。
- ・大径木となったアカマツを松枯れにならないうちに伐採、搬出した  
いが自力ですべてやるのは困難で、事業体等に頼むと赤字になりそうでそ  
れも困る。
- ・境界が分かれば手入れはしてみたい。
- ・次世代に相続の予定。

・祖父が大方植林した様なのですがその後の管理はしていない状態となっています。

所によっては防護柵が張られ運搬機も走行できない所があり個人での搬出は不可能。

・過去当地の植林下草刈り等を行いました、その後村を離れてからどのような状況になっているかわかりません。

・どこが所有地かわからない。

・寺の所有で税金を払っているが、納税しなければいけないのか？

・相続で所有者になり固定資産税を納めているだけで何もわからない。また後継者もない。

・山林には関心がない。

・所有している場所が不明。税金は支払っています。

## 問5 に対する考察

森林についての困りごとは大きく4種類に分かれる。

一つ目は26%の所有者が「山林の境界が分からない」と考えておられた。  
これは場所が分かるが詳しい境界まではわからない場合と長年山林へ入らなかったために分からなくなっている場合がある。

二つ目は21%の所有者が「自分の森林のことはわかっているが、後継者が知らない。」とを考えておられた。これは息子様等後継者の仕事が忙しい等の理由で山林について全く関心がない、または別地方に住んでいるために一緒に山林に入る機会が持てないでいることが考えられる。

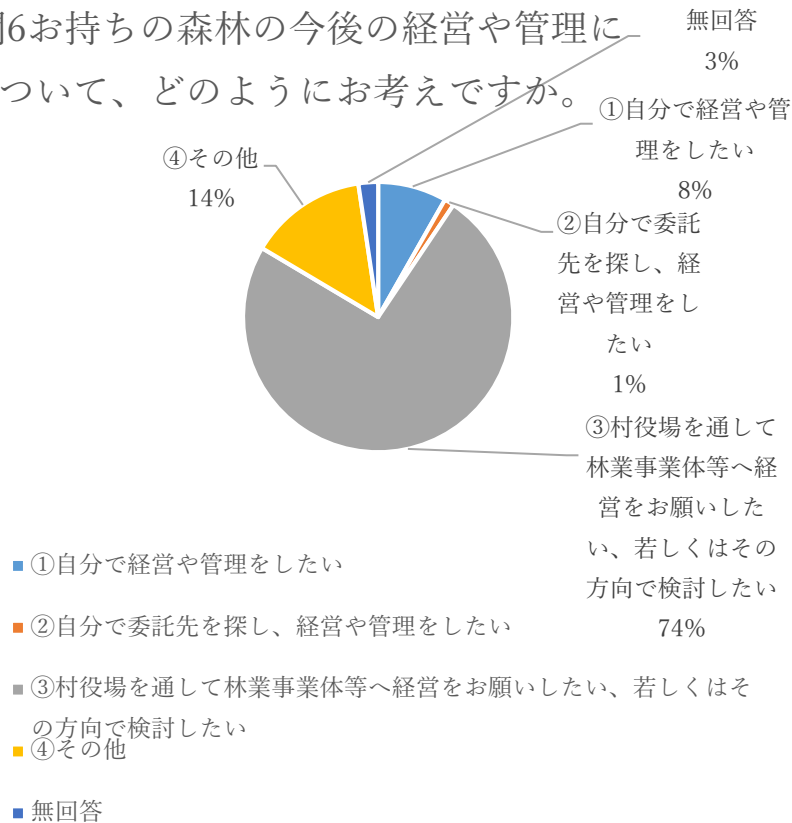
三つ目は19%の所有者が「山林を引き継ぐ後継者がいない」と考えておられた。これは二つ目の内容と似通っているが、さらに息子様等が山林を引き継いでもらえそうにない場合と後継の対象がいない場合がある。

四つ目は27%の所有者が「山林からの収入がない」と考えておられる。これは一つ目から三つ目までの根本的な原因にもなっている。材木の値段が大幅に下落し山の木を売っても、よほど条件が良い場合でも少しの収入にしかならず、大多数の山は大幅な持ち出しになってしまう。これでは自主的に山の管理をすることは難しいと思われる。

コメントを見ても「土地を活かす目途がない。責任が発生しても果たせないかもしれない。」「一時県の森林税による間伐事業があつたがもっと活用してもらいたい。」と、自力での山の所有管理は難しいと考える所有者が多くおられる。

ご自身で山の管理をする技術がない所有者、サラリーマンとして働かされている所有者には、お持ちの森林の経営や管理をすることは難しいように思える。

問6お持ちの森林の今後の経営や管理について、どのようにお考えですか。



①	(自分で経営や管理をしたい)	7件
②	(自分で委託先を探し、経営や管理をしたい)	1
③	(村役場を通して林業事業体等へ経営をお願いしたい、若しくはその方向で検討したい)	63
④	(その他)	12
無回答		2
合計		85

#### 問6 コメント欄への記載

- ・ どうしていいか、わからない。(4件)
- ・ 自分は高齢により管理できないが後継の者には③を勧めたい。(2件)
- ・ 現状のまま置くことになると思う。小面積で細長い、長方形で急傾斜地であり、周囲も同様です。皆の意見がまとまれば林業事業体等への経営管理にはご協力いたします。〇〇地区のどなたかが〇〇管理組合の代表をされているかと思えます。
- ・ 買ってもらいたい。
- ・ 自分で出来る限り経営や管理をしていきたいが限度もあるので、森林組合等へも一部委託してやっていきたい。
- ・ 村を通して境界を知りたいと思います。
- ・ 所有権移転も検討したい。
- ・ 出来るなら手放したい。
- ・ 相続放棄及び寄付



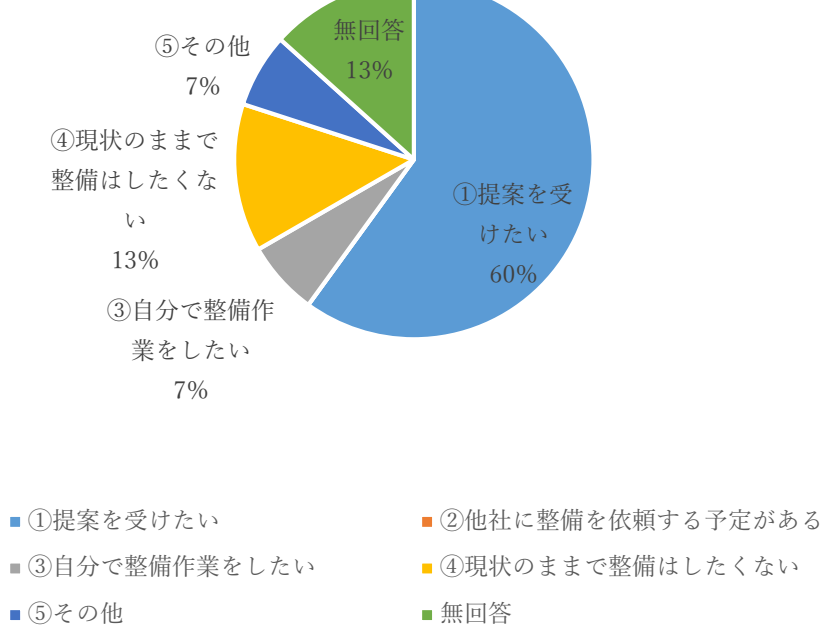
- ・ なにもしない。
- ・ 所有権を手放したい。
- ・ 経費や費用がかかれば支払いは出来ない。
- ・ 現状維持で良い。
- ・ 隣接所有者と境界の確認をしたい。林業事業体にて間伐等をお願いしたい

#### 問6 に対する考察

74%の大多数の所有者は「村役場を通して林業事業体等への経営をお願いしたい、若しくはその方向で検討したい」と考えられておられる。また、14%の「その他」の所有者は、内容をみると（経営管理のやり方が）「わからない」、（所有を）「手放したい」、（経営管理するには）「条件が悪い」という意見である。併せて実に88%の所有者がご自身による森林経営や管理について消極的な意見を持っておられる。また、「その他」を選んだ所有者の中にはご自身の所有する森林が森林施業を行う上では条件が悪く中川村や森林組合が施業を行っても費用の持ち出しを求められることを心配され、「今のまま手を入れないで良い」という意見もある。

逆に9%の所有者については、「自分で経営や管理をしたい」「自分で委託先を探し、経営や管理をしたい」という意見である。

問7対象森林を含めた一帯の未整備山林を調査し、森林整備についての施工提案をしたいと計画していますが、どのようにお考えですか。(10林班の森林所有者対象・・・森林経営計画樹立を予定)



①	(提案を受けたい)	9
②	(他社に整備を依頼する予定がある)	0
③	(自分で整備作業をしたい)	1
④	(現状のままで整備はしたくない)	2
⑤	(その他)	1
無回答		2
合計		15

#### 問7に対する考察

総数で15人ほどなので、人数で考察します。15人のうち9人の所有者が「提案を受けたい」と回答された。逆に1人の所有者が「自分で整備作業をしたい」と回答された。ご自身に森林整備の技術があり、いままでもご自身で整備されてきた所有者であると思われる。

また「現状のままで整備はしたくない」「その他」の所有者が合計3人いるが、具体的に提案書を見ていただき、事業についてご説明することで提案を受けてくださる場合もあると思う。